

平成 29 年度（第 65 期）事業報告

平成 29 年度も公益財団法人京都健康管理研究会（以下、本財団）の理念である「公益性を重んじ、難治性疾患への取組、その他疾病予防の推進」を掲げ、公益事業を展開し、全職員が一丸となり目的達成のため努力を傾注した。

平成 30 年明け、平昌オリンピックで日本選手団の活躍で沸き返ったあと、南北朝鮮が核問題解決に動き出し、その後、米朝首脳会談を行うという衝撃的な出来事となった。「戦争」という言葉が我が国にとっても現実味をおびて来た中、北朝鮮・韓国・アメリカ・中国、ロシアなどの間で激しい駆け引きが行われている。ただでさえ近隣国との間では領土問題や歴史観の問題で不協和音がある中、国交もままならないほど不安定で、我が国の安全保障、拉致問題等を含め、立ち位置は極めて難しいものとなっている。

一方、米国は個別の FTA 交渉を求め、また鉄鋼製品の関税を大幅に引き上げ、世界的な貿易戦争に発展しそうな気配もあり、大きな経済的難題も山積している。このような中、内政はいわゆる森友・加計問題や閣僚や官僚の不祥事追及のみに終始し、政治的・経済的にも先の見通しが難しい局面にある。

国家予算で社会保障費が約 33 兆円と 1.5%増大し、膨大な借金を抱えた日本の先行き不安は解消されそうにもない。年々増加する医療費を含む社会保障費の圧縮に対応するため、政府は超高額薬価のがん新薬を含め、大幅な薬価引下げ等を行い、医療費全体を圧縮しようとしているが、社会全体が超高齢化に向かっている現状では中々打開策を見いだせずにいる。

このような状況のもと、本財団は、平成 29 年度事業計画に従い、「福祉」と「医療」を一体のものと考え、「福祉医療」の実践機関として、患者や受診者を中心に事業を継続して行い、公益的存在であることを貫いてきた。

本年度も、定款に定めるとおり公益・収益の両分野の事業として年間を通し、全職員が一体となり、事業・業務を実施、充実を図ってきた。

以下に平成 29 年度に実施した事業を報告する。

I. 診療部（中央診療所）

診療部は、呼吸器系の難病あるいは全身性疾患、即ち、喘息、肺炎、間質性肺疾患（サルコイドーシス、間質性肺炎、過敏性肺臓炎、膠原病肺）、睡眠時無呼吸症候群、循環器、肝臓病、膠原病・リウマチ、神経内科、消化器、アレルギーなど各専門医が診療を担当する専門外来の充実を図ってきた。特に、厚生労働省の特定疾患患者や在宅酸素療法患者の数が多いたのが特徴である。さらに、禁煙指導外来、栄養指導外来を設置し、薬物療法に加えて、栄養指導や禁煙

という健康維持の基本を広い意味での治療として位置づけ治療を実施した。患者の高齢化に伴い、介護保険の有効利用により日常生活を支援するため、主治医意見書を作成している。更に、在宅医療医との連携を行い、診断や経過評価の充実を図ってきた。また、健康管理部で病気の予防・早期発見を目的に行う健康診断において、要精査あるいは要治療と判定された受診者を対象に外来診療を、一連の健康診断の一環として継続して行い、成果を上げている。

加えて、前述した難病等を診療対象としたより精度の高い検査を迅速に実施するために、X線撮影装置のデジタル化及びCT撮影装置並びにエコー診断装置等を順次更新し、より精度・技術の向上に努めた。

1. 外来患者数

平成29年度患者数（健康保険・自費）は17,379人（前年度17,543人、前年度比99.1%）であった。健康保険種別の患者数、健康保険診療患者の新患、再来数は表1に示した。

2. 社会福祉診療の状況

- (1) 低所得者、要保護者等の生計困難者に診療費の減免を行った。平成29年度の取扱件数は1,765件（前年度1,783件、前年度比99.0%）で、診療費の減免額は2,012,580円（前年度2,204,780円、前年度比91.3%）であった。
- (2) 無料健康相談の取扱件数は84件（前年度160件、前年度比52.5%）であった。

II. 健康管理部（中央診療所）

健康管理部は、病気の予防、病気の早期発見を目的に、健康診断、健康指導を主とする事業を行った。加えて、契約企業の産業医としての産業医活動を行うとともに、講演会活動ならびに研修会へ職員を派遣し、健康管理に対する理解と知識の向上にも努めた。本年度末には、胸部X線デジタル車が新規に本格稼働し、健診事業への貢献を図った。

1. 健康診断

平成29年度健康診断（出張および来所）の実施件数を表2に示した。総数は90,873名（前年度93,173名、前年度比97.6%）であった。

2. 健康指導

(1) 産業医活動

中央診療所は各種事業所と産業医としての契約を結び、担当医師が定期的に出向き、職場の安全衛生管理、衛生教育、労働者の健康障害に対する対応等を行うとともに、事業主・衛生管理者に対しての指導・助言を行い、個人の健康相談にも応じた。

・産業医契約状況（担当医師別）	事業所数
泉 孝英：平安女学院、(株)星光ビル管理、日本プラスチック製砥等	11
大田高祐：住友林業(株)住宅本部、(公財)日本習字教育財団、(株)カワキョーポレーション等……	17
長井苑子：ホルメント(株)、荒川(株) 京都食肉市場(株)等	6
荻野俊平：(株)晃商、東京海上日動火災保険(株)等	6
前田道之：京都電子工業(株)	1
	計 41

(2) 講演活動

- ・ 泉 孝英：石綿による健康障害. 建設業労働災害防止協会京都府支部石綿主任講習会
(第1回) 2017.5.10 京都
- ・ 泉 孝英：石綿による健康障害. 建設業労働災害防止協会京都府支部石綿主任講習会
(第2回) 2018.3.8. 京都

Ⅲ. 臨床研究センター

臨床研究センターは、診療所の健康診断受診者、患者を対象として、その得られた疫学成績や臨床成績の検討を行うとともに、成果を健康管理、診療の場にフィードバックすることを目的とした研究事業を行った。現在、主たる研究対象は喘息、COPD、サルコイドーシス、間質性肺炎、肺高血圧、膠原病等の各種疾患であるが、生活習慣病対策（脂肪肝・肥満）を含めての広範な研究を展開した。

また、本研究センターの事業の一環として、本臨床研究センターに所属する研究員（1名）の海外留学について支援した。

難治性疾患の予防・治療・調査研究の一環として、本研究センターの主要対象疾患サルコイドーシス研究と関連して、第37回サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会へ助成した。また、本財団中央診療所の最も中心的診療科目である呼吸器内科における学術研究を強力に支援するため、京都大学大学院医学研究科呼吸器内科講座に対して、寄付を実施した。これらは、本研究センターにおける研究の発展や本財団で実施する公益事業の充実に繋がるものとする。

1. 患者・一般市民に対する啓蒙活動、医師の勉強会

- (1) 第12回治療に関する患者・医療関係者交流会 ―在宅酸素療法，薬物，栄養，リハビリテーション―（平成29年4月9日、ハートピア京都）

講演：①「在宅酸素療法をうまく使おう」

②「在宅酸素療法の概要」

③「在宅酸素療法の日常について訪問から感じること」

④「栄養指導からみたアドバイス：呼吸不全，ステロイド肥満，免疫力低下など」

特別講演：

① 「慢性の痛み、しびれ、頭痛について」

参加：患者・付添者 45 名、本財団スタッフ 41 名、計 86 名

(2) 第 14 回健康塾 ―高齢社会を支える― (平成 29 年 9 月 9 日、京都文化博物館別館ホール)

講演：① 「筋力と筋肉をつける食生活」

② 「筋力アップで気持ちもアップ」

③ 「年金，介護，医療」

参加：健診先事業所・一般 65 名、本財団スタッフ 40 名、計 105 名

(3) 第 13 回サルコイドーシス，膠原病：患者・医療関係者交流会

(平成 29 年 10 月 21 日、ハートンホテル京都)

講演：① 「ステロイドの話 第 3 回」

② 「間質性肺疾患に対する iPS 細胞研究への取り組み」

特別講演：司会 長井 苑子

「サルコイドーシスと膠原病」

参加：患者・付添者 66 名、本財団スタッフ 44 名、計 110 名

(4) 第 15 回健康塾 (平成 29 年 3 月 11 日、京都文化博物館別館ホール)

講演：① 健康診断 ―丸ごと理解―

② 肥満と肥満症 ―第 1 回は脂肪肝―

参加：健診先事業所・一般 49 名、本財団スタッフ 33 名、計 82 名

2. 研究業績

本財団職員が定款の目的を達するために、平成 29 年度に行なった研究の業績及びそれに係る刊行物は別紙 1 の通りである。

IV. 報告事項 (その他)

1. 理事会及び評議員会の開催状況

平成 29 年度に開催した理事会及び評議員会審議事項及びその決議に従い行政庁等への届出事項は以下の通りである。

(1) 平成 29 年 5 月 11 日：理事会

〈理事会審議事項〉

第 1 号議案：平成 28 年度 (第 64 期) 事業報告の件 (理事会：承認)

第 2 号議案：平成 28 年度 (第 64 期) 決算報告 (貸借対照表及び損益計算書) の件
(理事会：承認)

第 3 号議案：補助金交付事業実施に関する件 (理事会：承認)

(2) 平成 29 年 5 月 30 日：定時評議員会

〈評議員会審議事項〉

第 1 号議案：平成 28 年度 (第 64 期) 事業報告並びに貸借対照表及び損益計算書について

- 承認を求める件（評議員会：承認）
- 第2号議案：任期満了に伴う理事の選任
（評議員会：定款に則り理事6名重任、4名新任を選任）
- 第3号議案：定款の一部変更の件（評議員会：承認）
- 第4号議案：評議員辞任及び選任の件（評議員会：評議員1名辞任、2名新任を選任）
- (3) 平成29年5月30日：理事会
〈理事会審議事項〉
- 第1号議案：代表理事及び業務執行理事選任の件
（理事会：定款に則り、代表理事重任、業務執行理事3名重任を選任）
- 第2号議案：顧問並びに参加選任の件（理事会：顧問6名、参加2名の就任承認）
- (4) 平成29年6月10日（決議があったと見なされた日）：理事会
〈理事会審議事項〉
- 第1号議案：京都大学大学院医学研究科呼吸器内科学講座への寄付に関する件（書面持ち
回り理事会：承認）
- (5) 平成29年6月28日（決議があったと見なされた日）：理事会
〈理事会審議事項〉
- 第1号議案：第37回サルコイドーシス/肉芽腫瘍疾患学会への助成に関する件（書面持ち
回り理事会：承認）
- (6) 平成29年6月28日：上記評議員会並びに理事会にて選任された理事10名並びに代表
理事、評議員2名を京都地方法務局にて登記
- (7) 平成29年7月13日：平成28年度（64期）事業報告書及び同決算書、評議員変更届を、
行政庁（本財団の場合は京都府）へ提出
- (8) 平成29年8月28日（決議があったと見なされた日）：理事会
〈理事会審議事項〉
- 第1号議案：長期借入金4,500万円の承認を求める件（書面持ち回り理事会：承認）
- (9) 平成29年11月10日：理事会
〈理事会審議事項〉
- 第1号議案：平成29年度（第65期）事業の進捗状況及び上期決算報告（理事会：承認）
- (10) 平成30年3月13日：理事会
〈理事会審議事項〉
- 第1号議案：平成30年度（第66期）事業計画案の件（理事会：承認）
- 第2号議案：平成30年度（第66期）予算案の件（理事会：承認）
- (11) 平成29年3月29日：平成30年度（第66期）事業計画及び同予算書を行政庁（京都府）
へ提出

2. 施設認定の取得状況

公益社団法人全国労働衛生団体連合会の労働衛生サービス機能評価認定（認定期間3年間）
更新の調査を前年度平成29年2月23日に受けた。その結果、平成29年6月1日付で継続
して認定適合機関の証を得た。

3. 職員の研修状況

- (1) 外部研修・講習：全衛連等の行う精度管理事業研修・講習に職員を参加させ、技術水準及び精度管理の向上に努めた。(別紙2)
- (2) 内部研修・講習：医療保険サービスの研鑽として、本財団主催による専門委員会活動や、技術水準向上を目指した所内研修・講習を行った。(別紙3)

4. 職員の公的業務の活動状況

〈泉 孝英〉

- ・京都府医師会京都内科医会理事
- ・公益財団法人安田記念医学財団理事
- ・社会福祉法人友々苑監事
- ・公益財団法人喫煙科学研究財団評議員
- ・特定非営利活動法人成年後見センターもだま理事長

〈長井苑子〉

- ・日本サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会副理事長
- ・びまん性肺疾患研究会代表世話人
- ・日本内科学会近畿地方会評議員
- ・京都胸部医会副会長
- ・京都産業推進センター相談員

〈大田高祐〉

- ・京都府医師会産業医部会幹事会委員
- ・京都 YMCA 国際福祉専門学校校医
- ・近畿財務局京都事務所健康管理医

〈倉迫和幸〉

- ・公益社団法人全国労働衛生団体連合会理事

5. 職員数と収入状況

表3に平成29年度の常勤・非常勤職員数状況を、表4に職員数と収入の現況を表した。

6. その他本財団の目的達成に必要と認める一切の事業

- (1) 医科器械については、老朽化した器材について順次更新を進めた。本年度は超音波診断装置2台、運動負荷型心電計1台、X線骨密度計を新設あるいは、更新した。更に、昨年度から計画していたデジタル検診車導入は、公益財団法人JKAの補助を受け本年度末から実稼働に入った。
- (2) 本年度も、編集委員会を定期的に開催し事業年報を刊行した。
- (3) 中央診療所施設については、1階事務室の空調設備を更新した。また、各フロア天井照明について、順次LED化を進めた。

- (4) インフルエンザの流行に備え、排気設備を備えた未判定患者の隔離用スペース（3 階廊下奥）を設置し、感染拡大の防止に努めた。また、処置室等に次亜塩素酸による空気清浄装置を導入した。なお、本スペースは平常時には保健指導などの目的に活用する。
- (5) 今後も老朽化した検診車の更新計画を立て、検診車購入・配備を確実に達成すべく全所プロジェクトとして推進する。

以 上

【別紙 1】

平成 29 年度研究業績一覧

(1) 学会発表等

- 池添浩平、半田知宏、谷澤公伸、久保武、徳田深作、中塚賀也、山本裕子、陳豊史、青山晃博、本山秀樹、土屋恭子、長井苑子、平井豊博、伊達洋至、陳和夫:脳死肺移植登録を行なった間質性肺疾患患者の臨床像と予後の検討 第 57 回日本呼吸器学会学術講演会 2017.4.23 東京
- Tanizawa K,Handa T,Kubo T,Chen-Yoshikawa T,F,Aoyama A,Motoyama H,Hijiya K,Yoshizawa A,Ikezoe K,Tokuda S,Nakatsuka Y,Yamamoto Y,Nagai S,Muro S,Oga T,Chin K,Hirai T,Date H.Radiological pleuroparenchymal fibroelastosis pattern in interstitial lung disease patients registered for lung transplantation: A single-institution experience. 113th American Thoracic Society International Conference, Washington DC, USA, 2017.5.19
- Yamamoto Y,Handa T,Nakatsuka Y,Tanizawa K,Sokai A,Ikezoe K,Tokuda S,Nagai S, Chin K, Hirai T. The Ptognostic value of serum S100A12 in patients with idiopathic pulmonary fibrosis. 113th American Thoracic Society International Conference, Washington DC,USA,2017.5. 19
- 大井昌寛、半田知宏、池添浩平、中塚賀也、山本裕子、徳田深作、久保 武、中島直樹、吉澤明彦、長井苑子、泉孝英、平井豊博:精巣サルコイドーシスの 1 例 第 14 回近畿サルコイドーシス/肉芽腫性疾患研究会 2017.5.27.大阪
- 泉 孝英:明治期ドイツ医学留学生の留学目的. 2017 年度医学史研究会前期例会 大阪 2017.6.17
- 山本裕子、祖開曉彦、半田知宏、谷澤公伸、宇野賀津子、池添浩平、中塚賀也、徳田深作、金谷久美子、久保武、小賀徹、長井苑子、陳和夫、三嶋理晃、平井豊博:特発性肺線維症における血中バイオマーカーの経時変化と予後に関する検討 第 53 回 日本肺サーファクタント関連医学会 2017.10.1 新潟
- 泉 孝英:[特別講演]ドイツの医学・アメリカの医学・日本の医学. 第 37 回日本サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会総会.名古屋 2017.11.3
- 谷澤公伸、半田知宏、福永健太郎、池添浩平、綾 梨乃、久保 武、吉澤明彦、中塚賀也、村瀬裕子、長井苑子、平井豊博:眼瞼に腫瘤を形成し、ミノサイクリン投与後に皮下腫瘤、肺病変、骨病変の改善が見られたサルコイドーシスの一例 第 90 回日本呼吸器学会近畿地方会 20 17.12.16 大阪

(2) 原著

- 泉 孝英:明治期ドイツ留学生の留学目的.医学史研究 (99):1015—24,2017
- 泉 孝英:戦間における米国の対日医療援助.啓迪 (32):55—69.2018
- Tanizawa K,Handa T,Nagai S,Niimi A,Oguma T,Kubo T,Ito Y,Aihara K,Ikezoe K,Matsumoto H,Hirai T,Chin K,Mishima M.Comprehensive evaluation of airway involvement in pulmonary sarcoidosis. ERJ Open Res. 3(1). 2017

- Tanizawa K, Handa T, Nagai S, Niimi A, Oguma T, Kubo T, Ito Y, Aihara K, Ikezoe K, Matsumoto H, Hirai T, Chin K, Mishima M. Comprehensive evaluation of airway involvement in pulmonary sarcoidosis. *ERJ Open Res* 3(1). 2017
- Tanizawa K, Handa T, Nakashima R, Kubo T, Hosono Y, Watanabe K, Aihara K, Ikezoe K, Sokai A, Nakatsuka Y, Taguchi Y, Hatta K, Noma S, Kobashi Y, Yoshizawa A, Oga T, Hirai T, Chin K, Nagai S, Izumi T, Mimori T, Mishima M. The long-term outcome of interstitial lung disease with anti-aminoacyl-tRNA synthetase antibodies. *Respir Med.* 127: 57-64. 2017
- Ikezoe K, Handa T, Tanizawa K, Yokoi H, Kubo T, Aihara K, Sokai A, Nakatsuka Y, Hashimoto S, Uemasu K, Sato S, Muro S, Nagai S, Yanagita M, Chin K, Hirai T, Taguchi Y, Mishima M. Chronic kidney disease predicts survival in patients with idiopathic pulmonary fibrosis. *Respiration.* 94 : 346-354. 2017.
- Ikezoe K, Handa T, Tanizawa K, Chen-Yoshikawa TF, Kubo T, Aoyama A, Motoyama H, Hijiyama K, Tokuda S, Nakatsuka Y, Yamamoto Y, Oshima A, Harashima SI, Nagai S, Hirai T, Date H, Chin K. Prognostic factors and outcomes in Japanese lung transplant candidates with interstitial lung disease. *PLoS One.* 12(8): e0183171. 2017
- Sokai A, Tanizawa K, Handa T, Kubo T, Hashimoto S, Ikezoe K, Nakatsuka Y, Aihara K, Taguchi Y, Muro S, Oga T, Nagai S, Izumi T, Hirai T, Chin K, Mishima M. Asymmetry in acute exacerbation of idiopathic pulmonary fibrosis. *ERJ Open Res.* 3(2). 2017
- Sokai A, Tanizawa K, Handa T, Kanatani K, Kubo T, Ikezoe K, Nakatsuka Y, Tokuda S, Oga T, Hirai T, Nagai S, Chin K, Mishima M. Importance of serial changes in biomarkers in idiopathic pulmonary fibrosis. *ERJ Open Res.* 3(3). 2017

(3) 編著

- 泉 孝英：高額がん治療薬と医療経済（特集：肺がん—個別化医療の時代／肺がんの新しい治療薬と問題点. *カレントセラピー* 35 (8) :755-761, 2017

(4) 編著

- 泉 孝英編：ポケット医学英和辞典 第3版. 医学書院, 2017
- 泉 孝英編：外来診療ガイドライン 2018. 日経メディカル開発. 東京. 2018

(5) 随筆等

- 泉 孝英：特別講演 ドイツ医学の時代. 京都市退職校舎長会会報 (49) 2017.7.17
- 泉 孝英：Karl Landsteiner —20世紀の生んだ医の巨人—（ノーベル賞と医学の進歩・発展 47）*最新医学* 72(8): 1181-1186, 2017
- 長井苑子・泉 孝英：文学に見る病と老い 97 角田房子「碧素・日本ペニシリン物語」 *Pharma Medica* 35(2): 94-100, 2017
- 長井苑子・泉 孝英：文学に見る病と老い 98 本川達雄「ゾウの時間ネズミの時間」 *Pharma Medicaca* 35(4): 80-84, 2017
- 長井苑子・泉 孝英：文学に見る病と老い 99 バルザック「ゴリオ爺さん」 *Pharma Medica* 35(6): 88-93, 2017
- 長井苑子・泉 孝英：文学に見る病と老い 100 瀬戸内晴美「お蝶夫人—小説 三浦 環」 *Pharma Medica* 35(8): 100-106, 2017

- ・ 長井苑子:サルコイドーシスについて考えていこう(連載第 25 回) サルコイドーシス友の会
会報 2017.8.10
- ・ 長井苑子:サルコイドーシスと呼吸器病変(連載第 27 回) サルコイドーシス友の会会報
2017.12.1

(6) 講演・講義

- ・ 泉 孝英 [特別講演]ドイツ医学の時代. 京都市退職校園長会. 2017.5.20
- ・ 泉 孝英: 町医者 of 経済学 (5) 一身体 of のしくみ 病気は どうして 起こる のか. 京都シニア
大学(一般教養). 2017.5.9
- ・ 泉 孝英: トランプ政権下の暮らしと健康. 四条烏丸アカデミークラブ. 2017.3.2
- ・ 長井苑子: サルコイドーシスという病期を理解して、安心な日常生活を送るために. サルコ
イドーシス学習会. 大阪府泉佐野保健所. 2017.10.18 泉佐野
- ・ 長井苑子: 呼吸器系難病とともに日常生活を送ること～ステロイド、免疫抑制薬、在宅酸素
療法、リハビリ、栄養について. 呼吸器系難病医療講演会. 滋賀県・滋賀県立文化産業交流会
館 2017.11.22 米原
- ・ 長井苑子: 肥満と健康.安全衛生研修会 京都市総合教育センター 2017.12.13 京都
- ・ 長井苑子: 肺動脈性肺高血圧症の知見から考える肺高血圧の病態 第 7 回神戸肺高血圧症研
究会 2018.2.14 神戸
- ・ 長井苑子: サルコイドーシス 全身性疾患としての理解—歴史、病像、病因— ぶどう膜炎を考
える会 2018.3.1 京都

【別紙 2】

平成 29 年度 職員等の研修状況

実施年月日	主催	会合名	出席	会場
H29. 4. 12	京都商工会議所	平成29年度京商ビジネススクール 接遇マナー研修	1名	京都商工会議所
H29. 4. 13	京都府保険医協会	医事紛争から見た医療従事者としての心構え	1名	京都府保険医協会
H29. 6. 10 ～11	一般社団法人日本臨床衛生 検査技師会	検体採取等に関する厚生労働省 指定講習会	1名	大阪科学技術センター
H29. 6. 12	京都労働局	企業内人権啓発推進員研修会	1名	ロームシアター 京都
H29. 6. 13	公益社団法人全国労働衛生 団体連合会	平成29年度定期総会・奨励賞授 賞式	2名	ホテルJALシテイ田町（東京）
H29. 6. 13	株式会社ユーエスワールド	血管・心臓エコーセミナー 下 肢静脈エコーライブ講演	2名	フクダ電子京滋 販売株式会社
H29. 7. 7	全衛連近畿地方協議会	平成29年度第1回全衛連近畿地 方協議会	2名	ホテルクラウン パレス神戸
H29. 7. 29	NPO法人肺がんCT認定機構	第18回肺がん検診認定技師講習 会・認定試験	1名	滋賀医科大学
H29. 8. 4	京都府公安委員会	平成29年度安全運転管理者講習	1名	龍谷大学響都ホ ール
H29. 8. 26	自動呼吸機能検査研究会	第14回自動呼吸機能検査研究会	1名	フクダ電子近畿 販売株式会社
H29. 8. 26	日本消化器がん検診学会近 畿支部	日本消化器がん検診学会 第46 回近畿地方会	1名	奈良春日野国際 フォーラム麓
H29. 8. 31	公益社団法人全国労働衛生 団体連合会	労働衛生サービス機能評価 施 設認定実務責任者研修会	1名	三田NNホール （東京）
H29. 9. 9	フジフィルムメディカル株 式会社	フジフィルムメディカルセミナー 2017/デジタルマンモグラフィ 最新情報	1名	TKPガーデンシ ティ京都
H29. 9. 13	全国健康保険協会京都支部	平成29年度第1回健康保険委 員・年金委員合同研修会	1名	京都テルサ
H29. 9. 13	公益社団法人全国労働衛生 団体連合会	選別聴力検査研修会	3名	大阪リバーサイ ドホテル
H29. 9. 28	JAPAN SIQ協会	医療接遇対応研修 中級編	1名	京都府保険医協 会
H29. 9. 28	京都府医師会	平成29年度京都府予防接種研 修会	1名	京都府医師会館
H29. 11. 8	日立健康保険組合	2018年度健診補助制度の変更等 に関する説明会	1名	日立製作所関西 支社

H29. 11. 22	日本医療情報学会	医療情報学連合大会／第18回日本医療情報学会学術大会	1名	大阪国際会議場
H29. 12. 2	日本脳神経超音波学会	第29回京都脳神経・脈管超音波セミナー	1名	京都テルサ
H29. 12. 6	明治安田生命保険相互会社	明治安田生命2018年度健康診断事前説明会	1名	明治安田生命丸の内本社（東京）
H30. 1. 30	京都市人権文化推進課	平成29年度第9回企業向け人権啓発講座	1名	ウイングス京都
H30. 2. 16	全衛連近畿地方協議会	平成29年度第2回全衛連近畿地方協議会	1名	ホテルクラウンパレス神戸
H30. 2. 24	日本消化器がん検診学会	第40回近畿支部放射線研修会	1名	千里ライフサイエンスセンター

【別紙 3】

平成 28 年度 内部研修・講演会

実施年月日	内 容	出席者	会場
H29. 7. 18	月例研修会：スマホをうまく使おう	所内スタッフ 一般受講希望者	中央診療所 5F研修会場
H29. 9. 19	月例研修会：診療と健診からの「知っ得」情報 ―基本と思わぬ発見―	所内スタッフ	中央診療所 5F研修会場
H29. 10. 17	ラウンジセミナー：アレルギー性ショックとその治療薬について	所内スタッフ	中央診療所 2F外来待合
H29. 10. 24	月例研修会：「鉄」のモノ語り	所内スタッフ 一般受講希望者	中央診療所 5F研修会場
H29. 11. 14	ラウンジセミナー：COPDのガイドラインについて	所内スタッフ	中央診療所 2F外来待合
H29. 11. 21	月例研修会：逆引き 外来診療&健康診断：キーワードで理解しよう 診療業務と健診業務	所内スタッフ	中央診療所 5F研修会場
H29. 11. 27	ラウンジセミナー：ぶどう膜炎とその治療薬について	所内スタッフ	中央診療所 2F外来待合
H29. 12. 12	ラウンジセミナー：喘息治療薬について	所内スタッフ	中央診療所 2F外来待合
H29. 12. 19	月例研修会：朝靨行幸について	所内スタッフ 一般受講希望者	中央診療所 5F研修会場
H30. 1. 10	ラウンジセミナー：オーダーリング説明会（1）	所内スタッフ	中央診療所 2F外来待合
H30. 1. 16	月例研修会：日本の医療をめぐる問題点	所内スタッフ 一般受講希望者	中央診療所 5F研修会場
H30. 2. 6	ラウンジセミナー：オーダーリング説明会（2）	所内スタッフ	中央診療所 2F外来待合
H30. 2. 20	月例研修会：健康診断と二次精査について ―肥満と肥満症を中心に―	所内スタッフ 一般受講希望者	中央診療所 5F研修会場
H30. 3. 6	ラウンジセミナー：インフルエンザワクチンについて	所内スタッフ	中央診療所 2F外来待合
H30. 3. 13	ラウンジセミナー：気管支拡張薬について	所内スタッフ	中央診療所 2F外来待合